

科目名		授業形態	担当教員名	
言語発達障害IV (発達段階の評価と指導：言語獲得期以降)		講義	石井 喜代香	
時間数 (単位数)		授業回数	年次	開講時期
15 時間 ( 1 単位)		8 回	2 年次	前期
授業の目的・概要				
<p>語彙獲得以降から学童期を中心とした読み書き能力について評価と指導・支援について解説する。小児の言語聴覚療法では、発達段階と障害の特性とを重ねあわせて考えていく必要がある。これには、これまで学んだ生涯発達心理学や言語発達学、及び言語発達障害の知識がベースとなる。これまでの知識を見直し、発達段階の評価のポイントや障害特性の理解を深め、様々な指導・支援方法について理解できるようになることを目的とする。</p>				
授業の到達目標				
<p>1. 語彙獲得期から学童期までの評価の仕方について説明できる。  2. 発達段階と障害の特性に応じた指導・支援の仕方について説明できる。  3. 様々な指導法について知り、理解し説明することができる。</p>				
授業計画				
回	内容			
1	語彙獲得期の復習 構文獲得期の発達と評価			
2	構文獲得期の評価と指導 (1) 課題学習型の指導			
3	構文獲得期の評価と指導 (2) 交渉優先型の指導			
4	会話、談話の発達と評価			
5	会話の評価と指導 (1) 自閉スペクトラム障害			
6	会話の評価と指導 (2) 知的能力障害 読み書き能力の発達と評価			
7	学童期の評価と指導 (1)			
8	学童期の評価と指導 (2)			
成績の評価法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
定期試験	100%			
レポート				
小テスト				
平常点				
その他				
自由記載				
教科書				
書名	著者・編集者名	出版社名		
入門コース ことばの発達と障害3 ことばの障害の評価と指導	大石敬子 編	大修館書店		
言語聴覚士のための言語発達障害学 第2版	石田広代・大石敬子 編	医歯薬出版		
言語発達障害学 第3版	玉井ふみ 編	医学書院		
言語聴覚療法シリーズ 10 改訂言語発達障害 I	大貝茂	建帛社		
自由記載				
参考文献				
書名	著者・編集者名	出版社名		
自由記載				
備考				